

# 2008年度（2009年3月期） 中間期（第2四半期）決算説明会

---

2008年10月29日

セイコーエプソン株式会社

## ■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

---

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

## ■ 本説明資料における表示方法

---

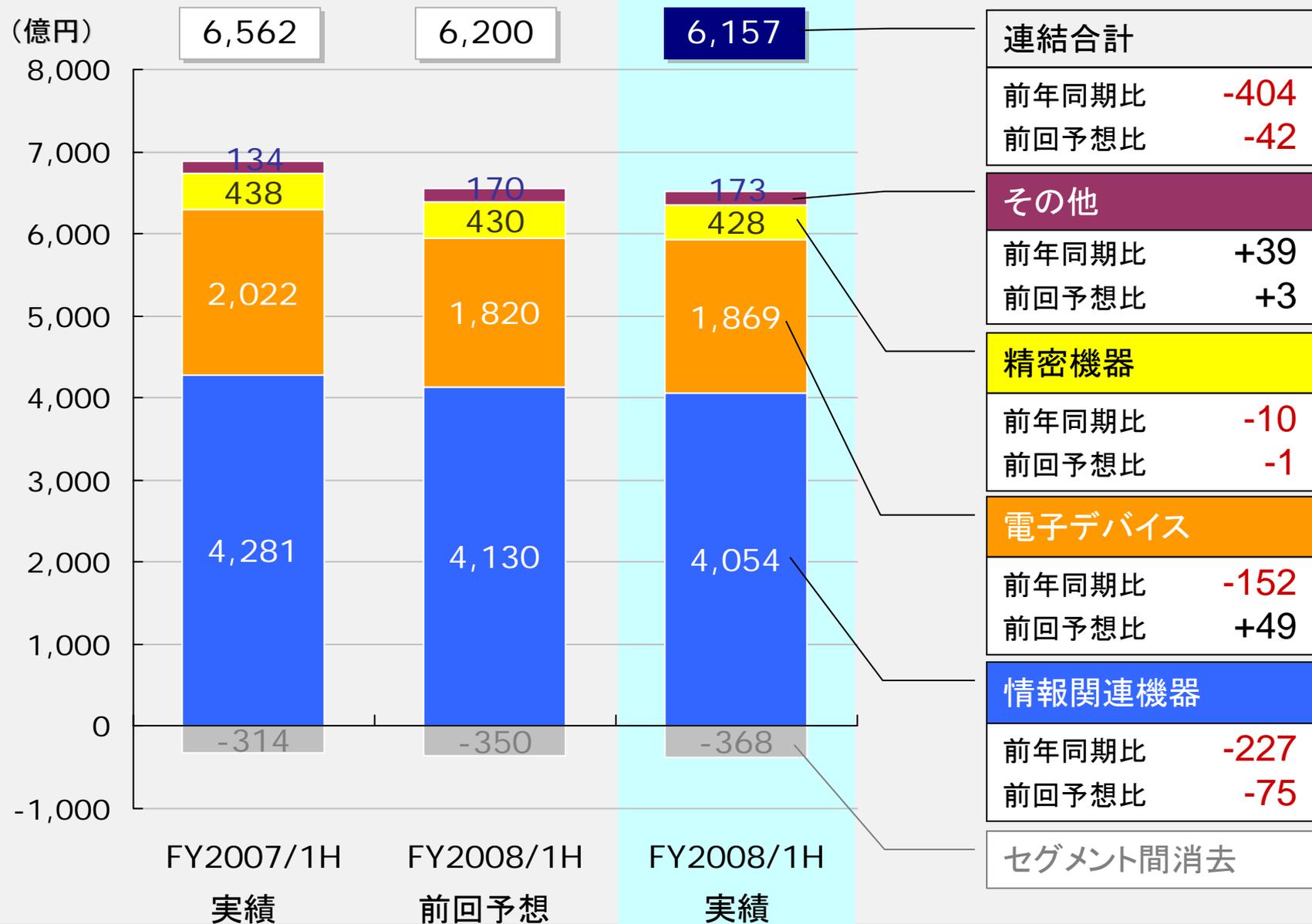
数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

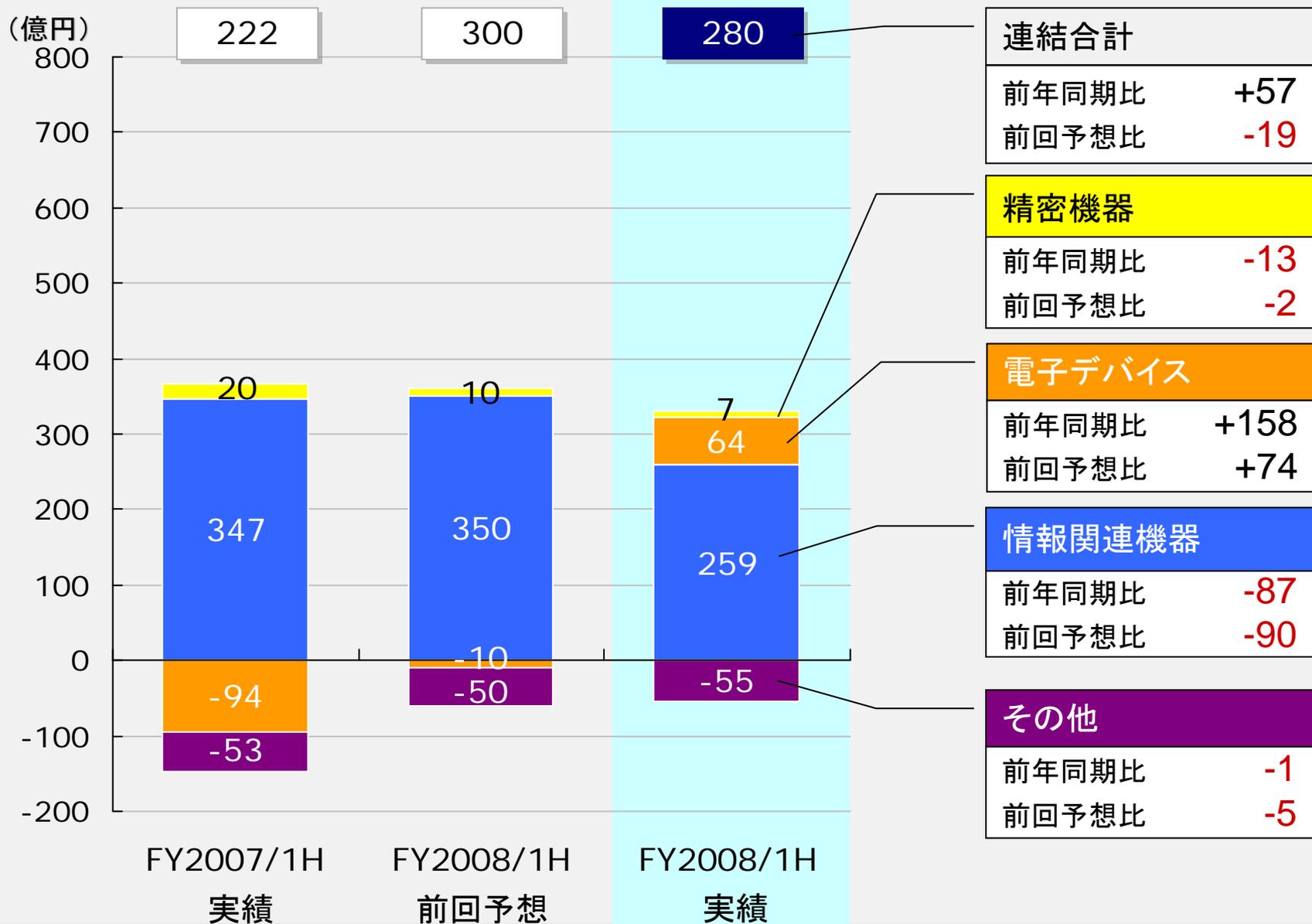
# 決算ハイライト(中間決算)

(億円)	2007年度		2008年度				増減額 増減率	
	実績	%	前回予想	%	実績	%	前年 同期比	7/30 予想比
売上高	6,562	-	6,200	-	6,157	-	-404 -6.2%	-42 -0.7%
営業利益	222	3.4%	300	4.8%	280	4.6%	+57 +25.8%	-19 -6.6%
経常利益	258	3.9%	300	4.8%	274	4.5%	+16 +6.4%	-25 -8.3%
税引前利益	221	3.4%	220	3.5%	204	3.3%	-17 -7.8%	-15 -7.1%
純利益	32	0.5%	130	2.1%	117	1.9%	+84 +259.8%	-12 -9.8%
EPS	16.59 円		66.20 円		59.69 円			
換算 レート	USD	119.33 円	102.00 円		106.11 円			
	EUR	162.30 円	162.00 円		162.68 円			

# 中間期決算概要売上高比較▶事業セグメント別



# 中間期決算概要営業利益比較▶事業セグメント別



# 業績予想(通期)

(億円)	2007年度		2008年度				増減額 増減率	
	実績	%	前回予想	%	今回予想	%	前年 同期比	7/30 予想比
売上高	13,478	-	13,000	-	12,630	-	-848 -6.3%	-370 -2.8%
営業利益	575	4.3%	680	5.2%	450	3.6%	-125 -21.8%	-230 -33.8%
経常利益	632	4.7%	700	5.4%	530	4.2%	-102 -16.2%	-170 -24.3%
税引前利益	520	3.9%	600	4.6%	430	3.4%	-90 -17.4%	-170 -28.3%
当期純利益	190	1.4%	350	2.7%	270	2.1%	+79 +41.4%	-80 -22.9%
EPS	97.24 円		178.24 円		137.50 円			
換算 レート	USD	114.28 円	101.00 円		103.00 円			
	EUR	161.53 円	161.00 円		149.00 円			

\*今回予想:下期の為替前提  
USD:100.00円  
EUR:135.00円

## ■外部環境の認識

前回説明会(7月30日)に比べ、マクロ経済・為替の不透明感は強い  
企業の投資意欲の減退は顕著

⇒さらなる景気後退による不安要素はあると認識

## ■今回予想の考え方

下期の為替前提:

直近の為替動向(円高)を考慮し、USD100円、EUR135円

事業環境:

現段階では不透明で流動的であり、円高による為替の影響を受けるが、  
年末商戦に向け、マーケットにおいて評価の高いインクジェットプリンタ  
新製品と消耗品の販売施策に力を入れていく  
景気後退による携帯電話市場や電子部品の需要減少があるが、  
受注の取り込みに力を入れていく、  
同時に費用の効率的な執行への取り組みなどの改善努力を継続

以上の見直しを踏まえ、今回の損益予想を修正

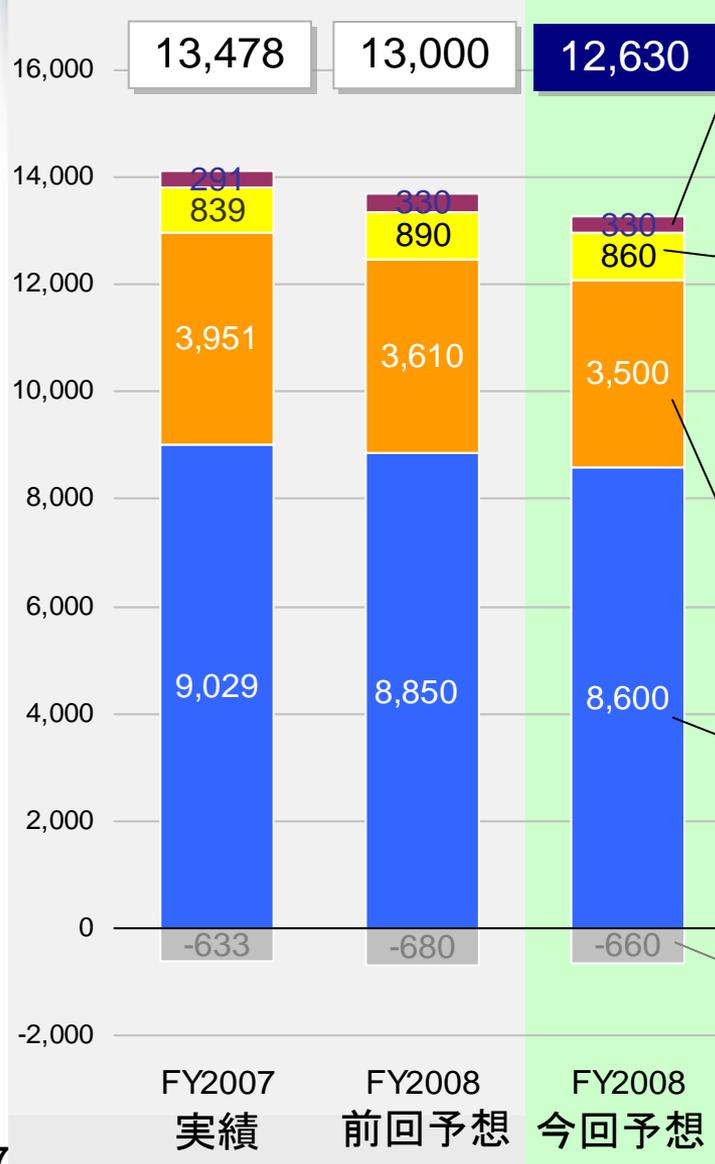
(ご参考)

■2008年度、下期のEURの為替変動による損益影響の見通し

営業利益:1円の円高で6億円の利益減少 / 経常利益:1円の円高で3億円の利益減少

# 2008年度業績予想(売上高)▶事業セグメント別

## 通期 売上高 (億円)



## 半期 売上高 (億円)



**その他**  
 前年同期比 +38  
 前回予想比 +0

**精密機器**  
 前年同期比 +20  
 前回予想比 -30

**電子デバイス**  
 前年同期比 -451  
 前回予想比 -110

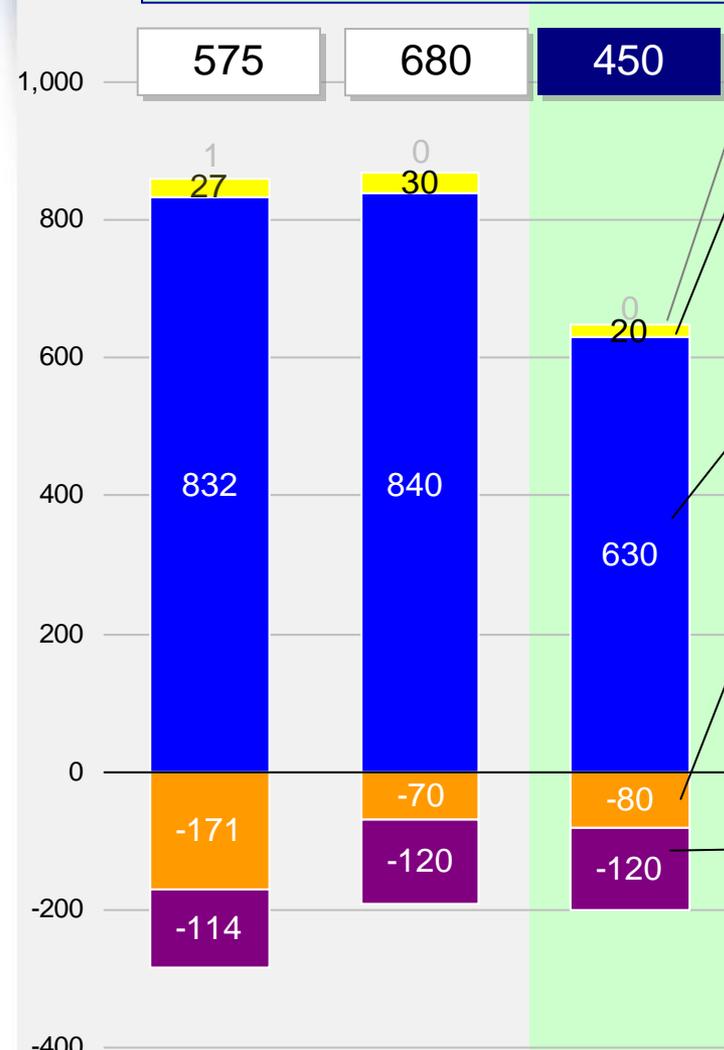
**情報関連機器**  
 前年同期比 -429  
 前回予想比 -250

消去又は全社

\*今回予想:下期の為替前提  
 USD:100.00円  
 EUR:135.00円

# 2008年度業績予想(営業利益)▶事業セグメント別

## 通期 営業利益



消去又は全社

**精密機器**  
前年同期比 -7  
前回予想比 -10

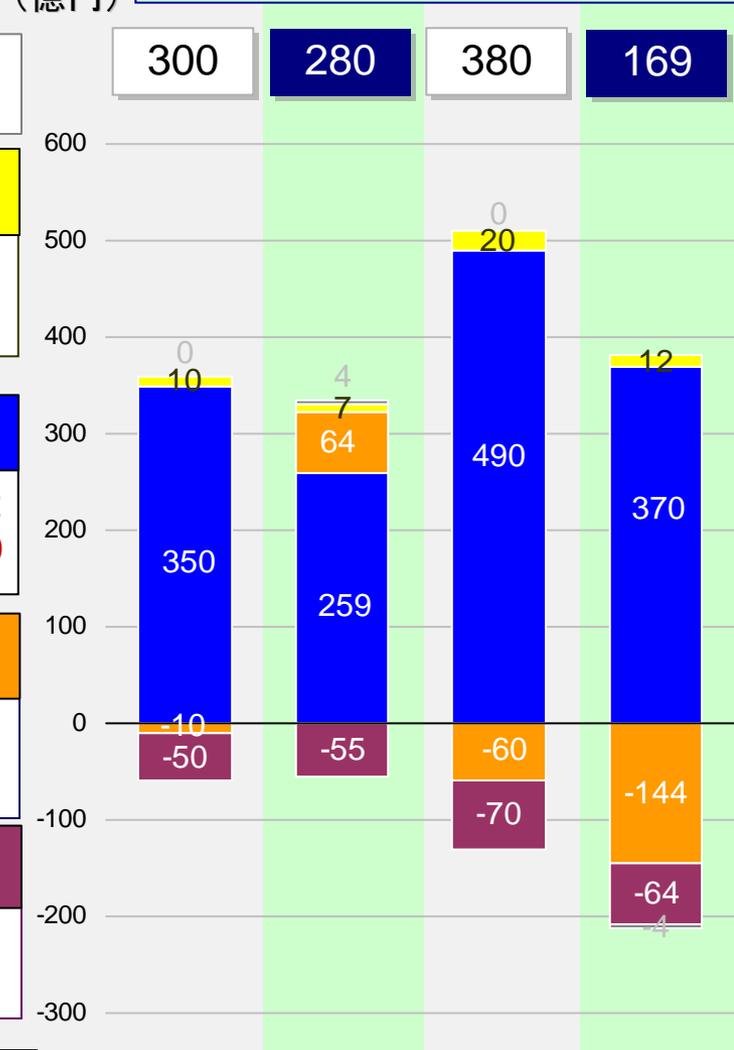
**情報関連機器**  
前年同期比 -202  
前回予想比 -210

**電子デバイス**  
前年同期比 +91  
前回予想比 -10

**その他**  
前年同期比 -5  
前回予想比 ±0

\*今回予想:下期の為替前提  
USD:100.00円  
EUR:135.00円

## 半期 営業利益



1H 前回予想

1H 実績

2H 前回予想

2H 今回予想

## 情報関連機器セグメント

インクジェットプリンタを中心に、期初計画に定めた基本戦略を着実に取り組む  
ただし、直近の市場環境の悪化も予想され、拡販努力による最大限の数量増をはかる

- インクジェットプリンタ
  - 安定した利益を維持し、中長期的な利益成長を目指す
    - 1) コンシューマ向け: 消耗品の販売に結びつける、魅力ある新製品の販売とマーケティングを継続
    - 2) ビジネス向け: 景気後退による企業の投資意欲の減退が懸念されるが、新製品を投入
  - コストダウンへの取り組み
  - ピエゾヘッド技術を核とした、ビジネス・産業分野への取り組みを強化
- ビジネスシステム
  - 企業投資減少の影響がPOS関連にあるものの、新興国向けにSIDMの底堅い需要
- ページプリンタ
  - プリントボリュームを意識した採算性を重視した本体の販売を継続
- プロジェクター
  - ビジネス・教育市場、ホーム市場向けに魅力ある新製品の投入によるラインナップの充実

## 電子デバイスセグメント

下期は、景気後退による電子部品の需要減少の影響を受けるものの、通期では、前回見込みを達成

- 中・小型液晶ディスプレイ
  - 景気の後退による携帯電話市場の鈍化の中、受注の早期取り込みと新規アプリケーション獲得の活動強化
- HTPS
  - 他社向けデマンドの減少の中、費用の効率的執行、コストダウンへの取り組みを強化
- 水晶
  - 景気後退による携帯電話需要減の影響、非携帯市場のアプリケーション獲得活動の強化  
エプソントヨコム(10月27日)の業績修正

## 意識している大きな世界の変化

- グローバリゼーション  
世界経済を牽引するエマージング市場
- 環境  
新たな価値を生む環境負荷の低減
- ビジネスモデルの変化  
水平分業の進展による巨大専門企業など

## エプソンの強み

- ワールドワイドに構築された、  
製造、販売インフラ
- +
- 省・小・精を極める技術



## 成長戦略の方向感

- マイクロピエゾテクノロジーの革新で、印刷の世界を変革
- プロジェクションテクノロジーの革新で、大画面表示で圧倒的ポジションを確立
- ユーザーインターフェイスの革新で、産業の高度化、情報化を牽引できる機器を開発
- エマージング市場への注力、コンシューマから産業・インダストリーへの注力
- エプソンの強みと真の顧客価値にフォーカスした新たなビジネスモデルを創造

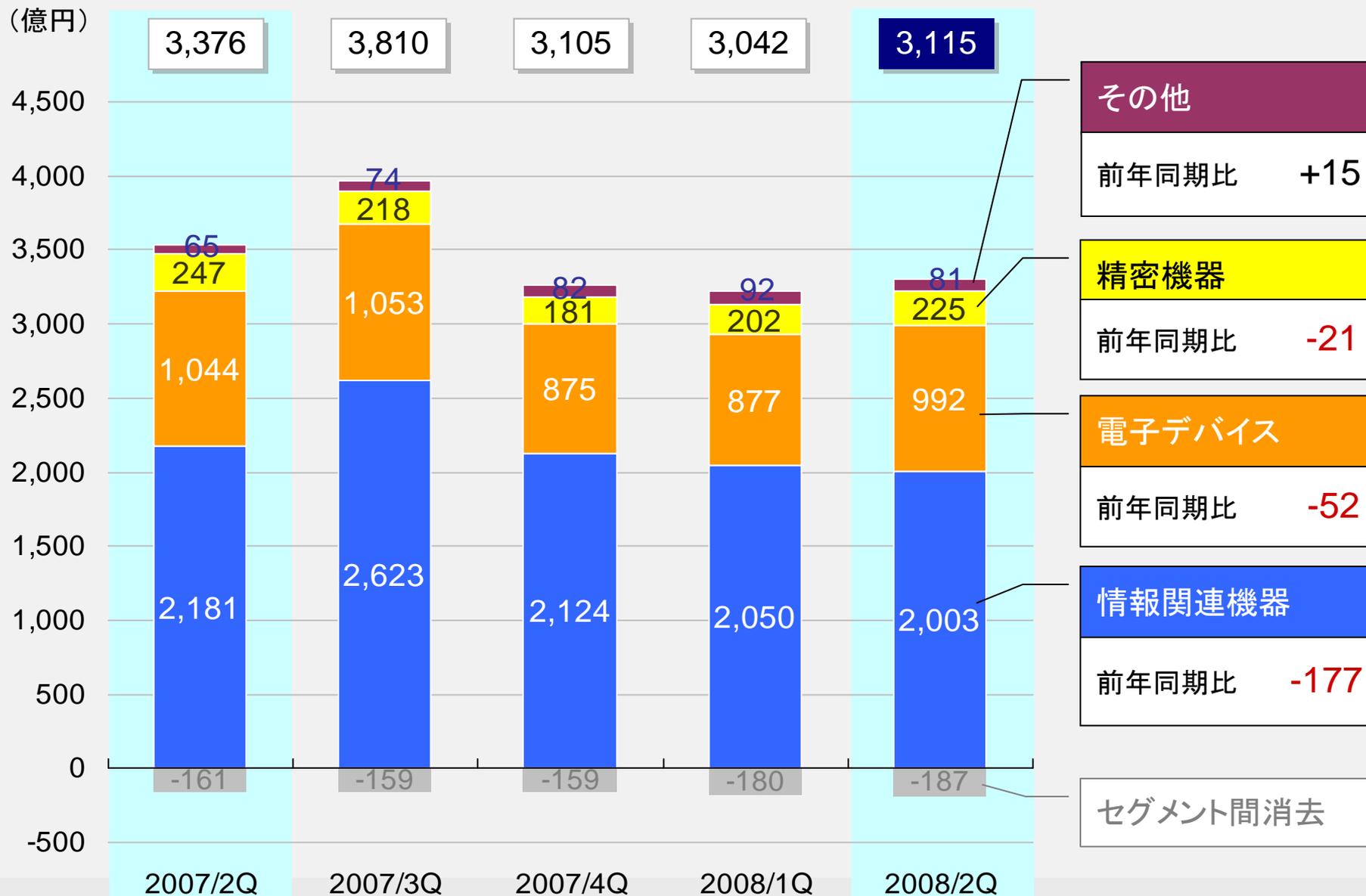
1) 2008年度 中間決算

2) 2008年度 業績予想

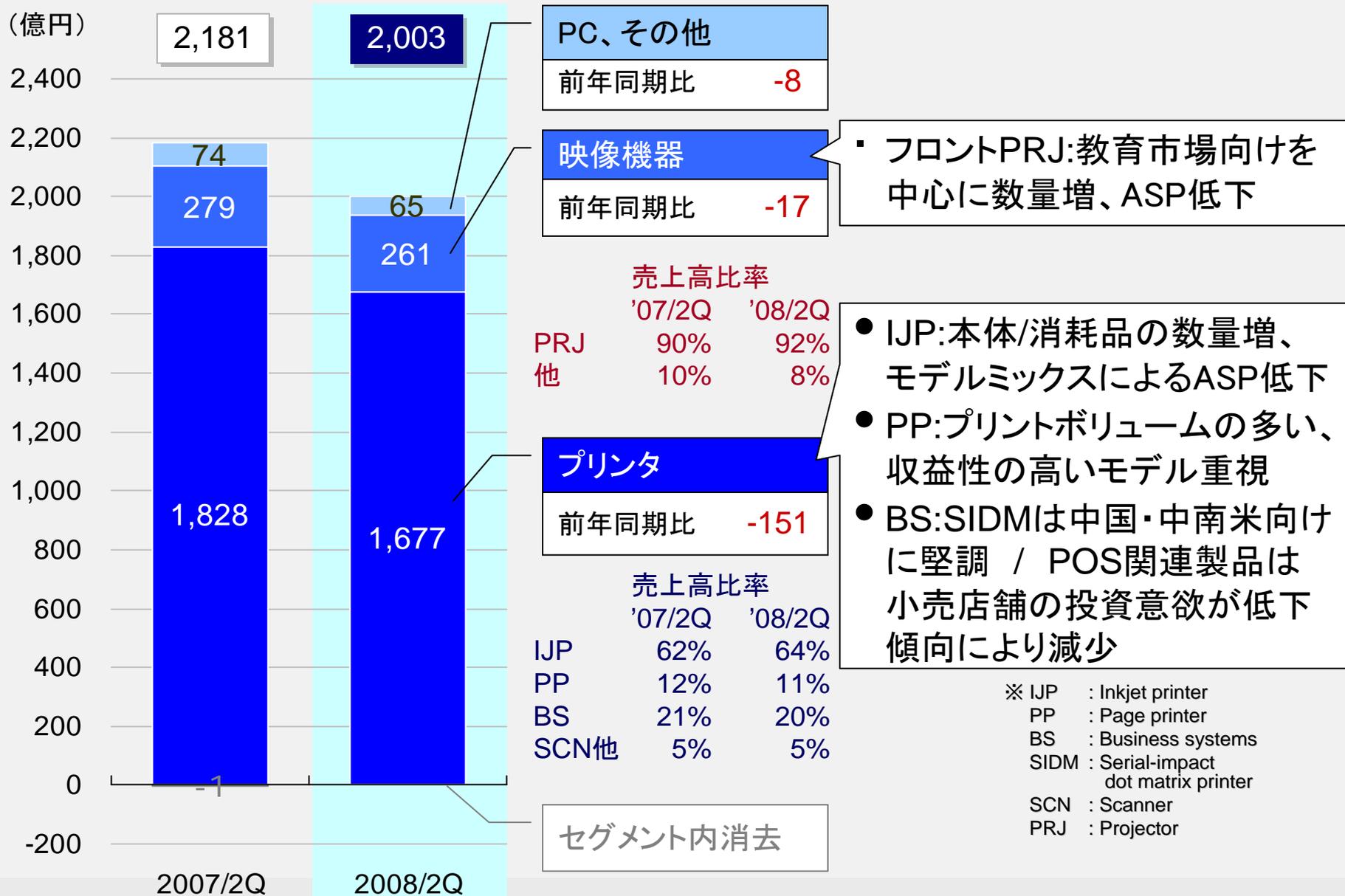
# 決算ハイライト(第2四半期決算) ▶ 前年同期比

(億円)		2007年度		2008年度		増減	
		2Q実績	%	2Q実績	%	増減額	増減率
売上高		3,376	-	3,115	-	-261	-7.7%
営業利益		105	3.1%	56	1.8%	-49	-46.8%
経常利益		128	3.8%	55	1.8%	-73	-57.1%
税引前利益		98	2.9%	47	1.5%	-51	-52.2%
四半期純利益		19	0.6%	14	0.5%	-5	-27.9%
EPS		10.03 円		7.23 円			
換算 レート	USD	117.87円		107.66円			
	EUR	161.88円		161.93円			

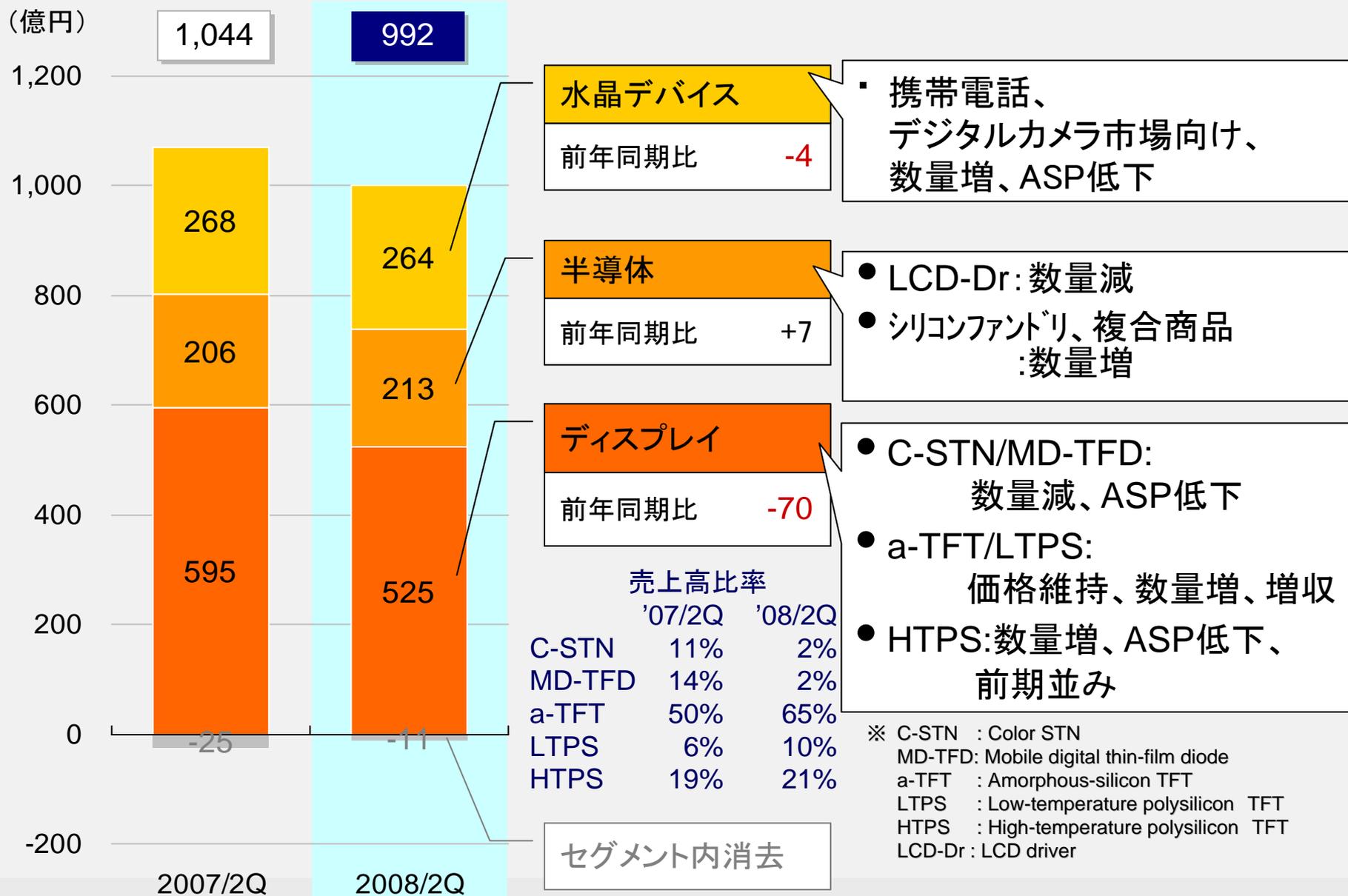
# 四半期売上高推移▶事業セグメント別



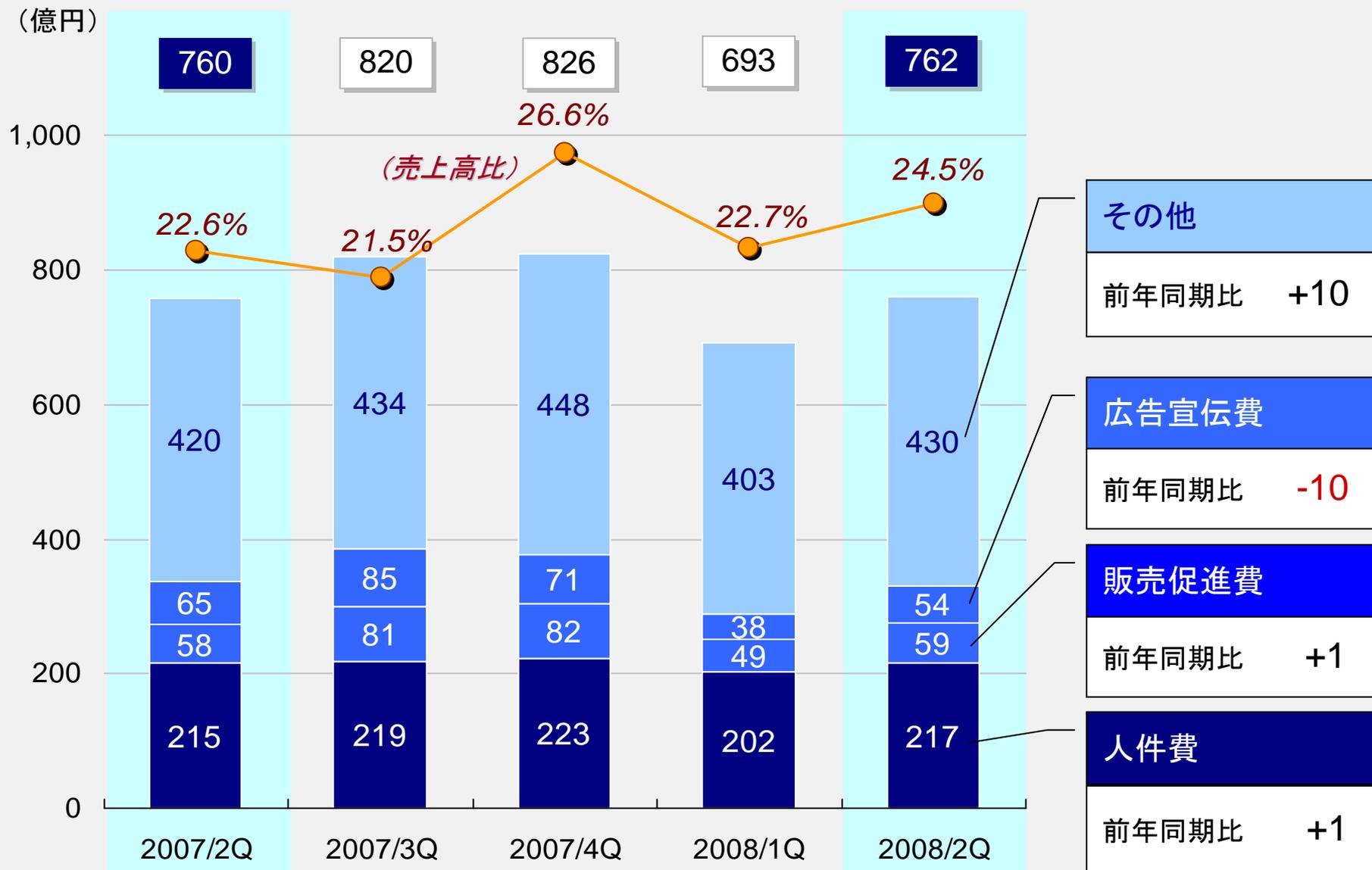
# 四半期売上高比較▶情報関連機器セグメント



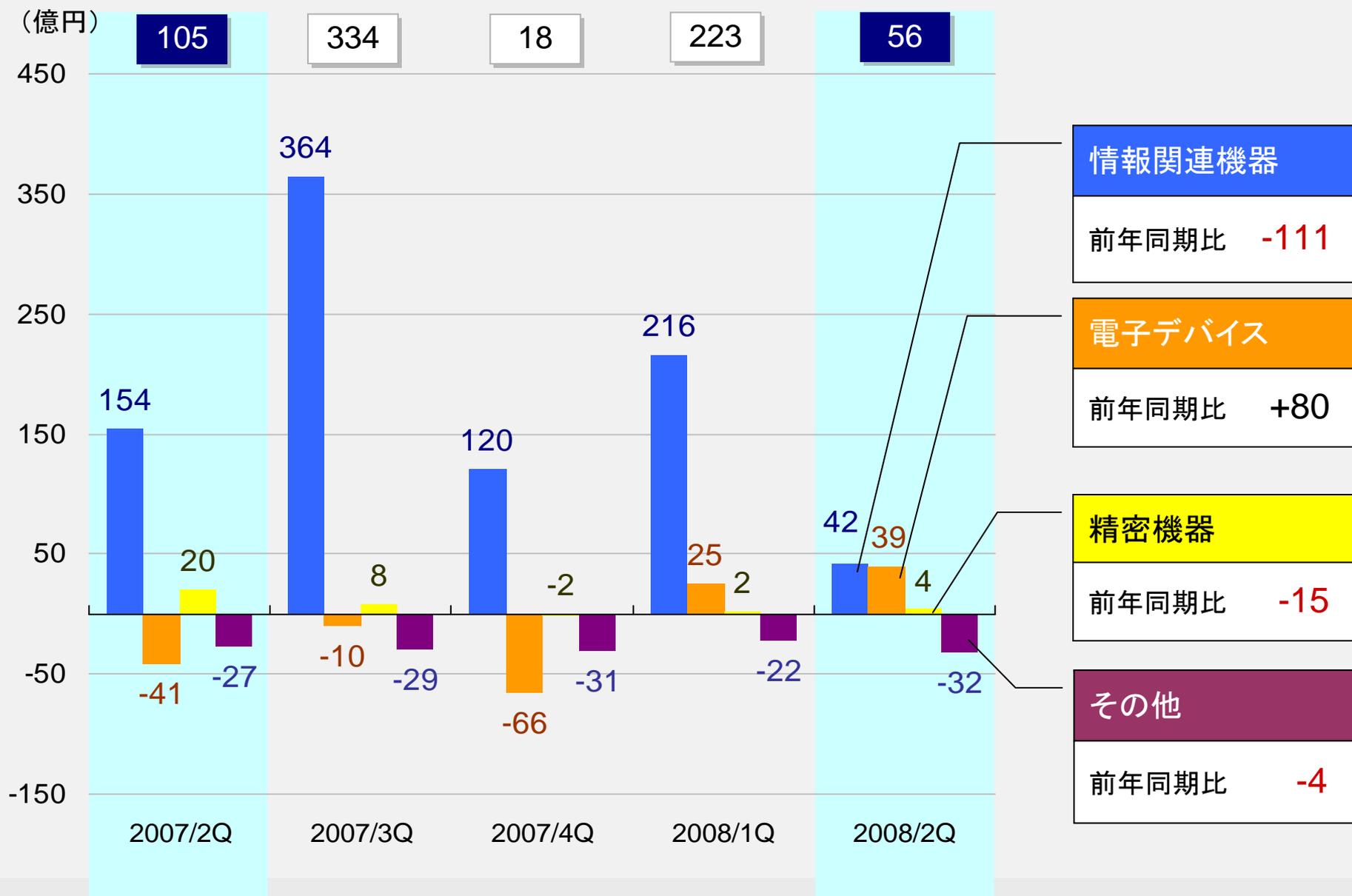
# 四半期売上高比較▶電子デバイスセグメント



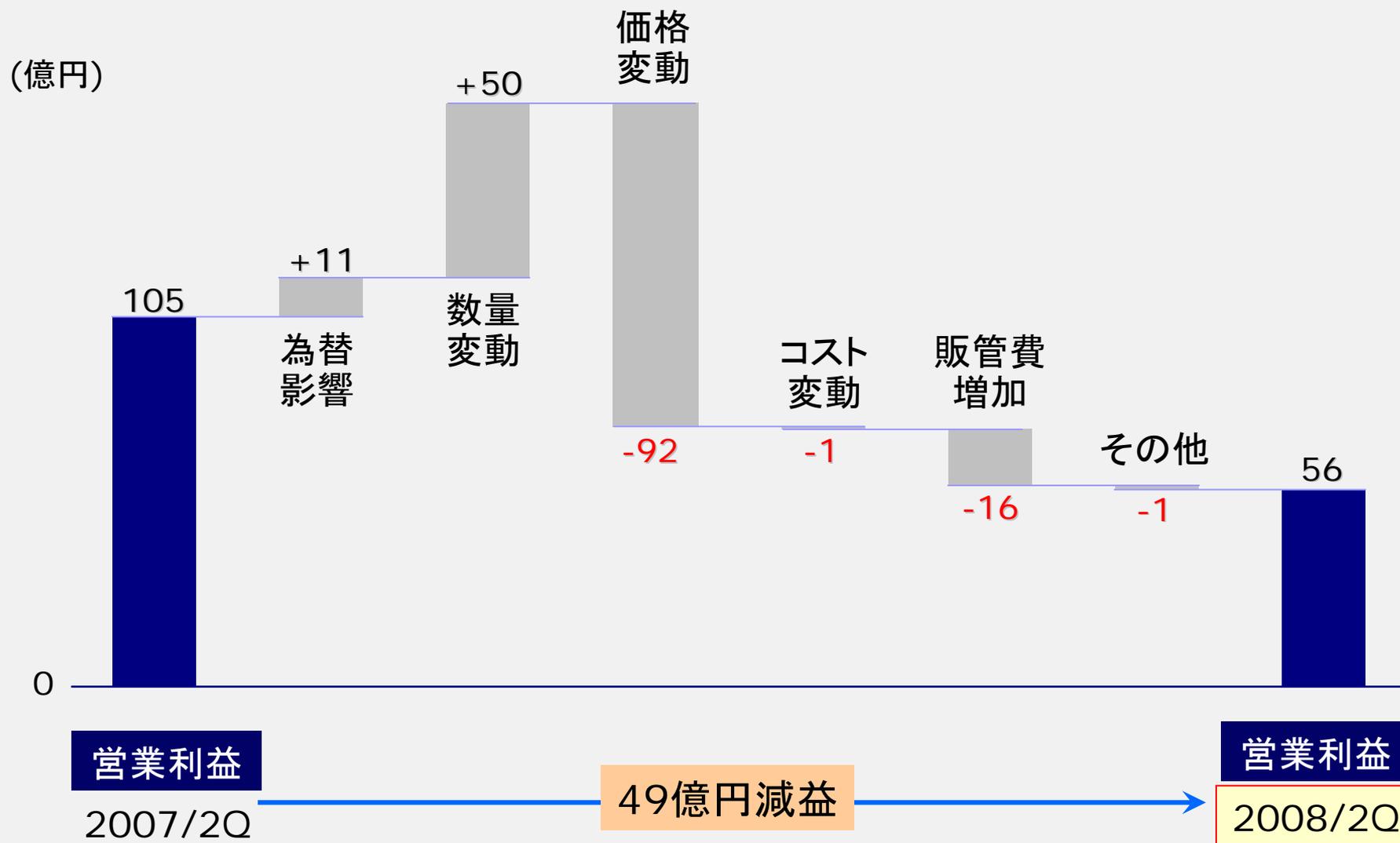
# 四半期販売費及び一般管理費推移



# 四半期営業利益推移▶事業セグメント別



# 営業利益増減要因分析



# 貸借対照表主要項目推移

## 総資産

(億円)



## たな卸資産

(億円)



## 有利子負債・有利子負債依存度

(億円)



## 自己資本・自己資本比率

(億円)



\*有利子負債=2008年度からリース負債を含む

\*自己資本=純資産合計-少数株主持分

1) 2008年度 中間決算

2) 2008年度 業績予想

# 事業別売上高予想▶情報関連機器セグメント



**PC、その他**

前年同期比 **-9**  
 前回予想比 **-10**

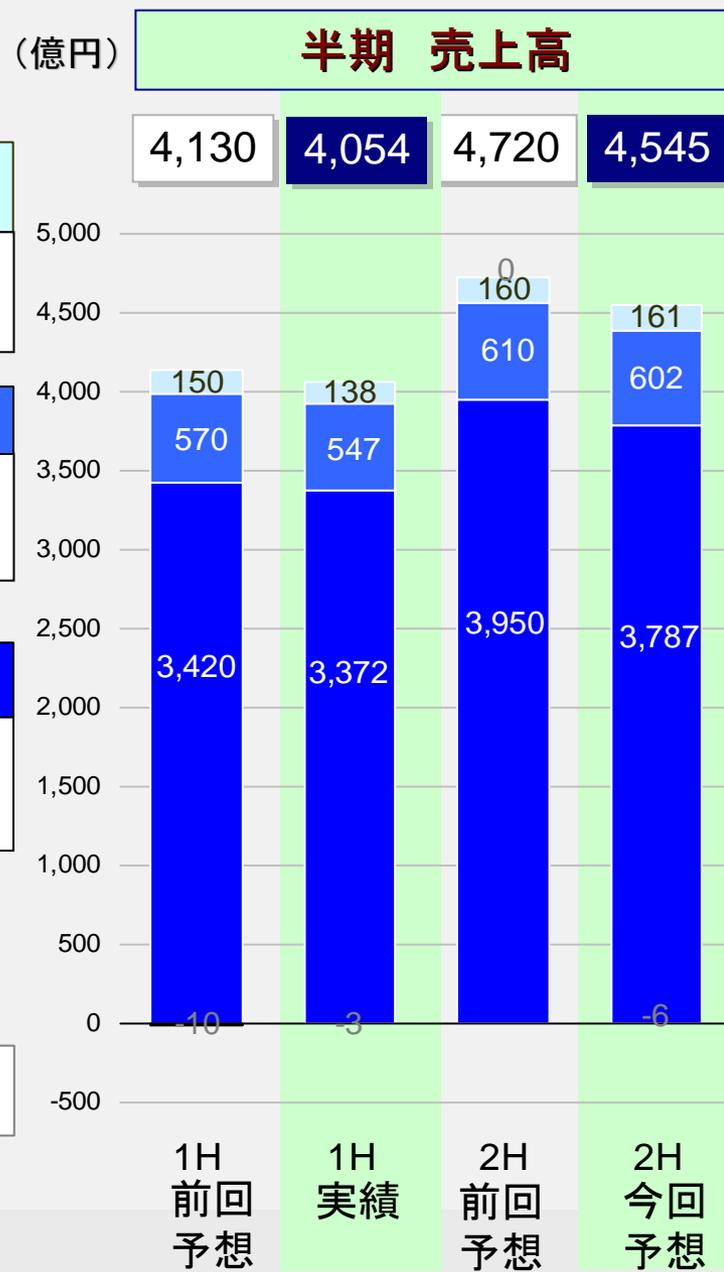
**映像機器**

前年同期比 **+36**  
 前回予想比 **-30**

**プリンタ**

前年同期比 **-452**  
 前回予想比 **-210**

セグメント内消去



# 事業別売上高予想▶プリンタ事業

(億円) **通期 売上高**



スキャナその他

ビジネスシステム

- 景気後退によるPOSへの影響
- SIDMは中国向けなど堅調に推移

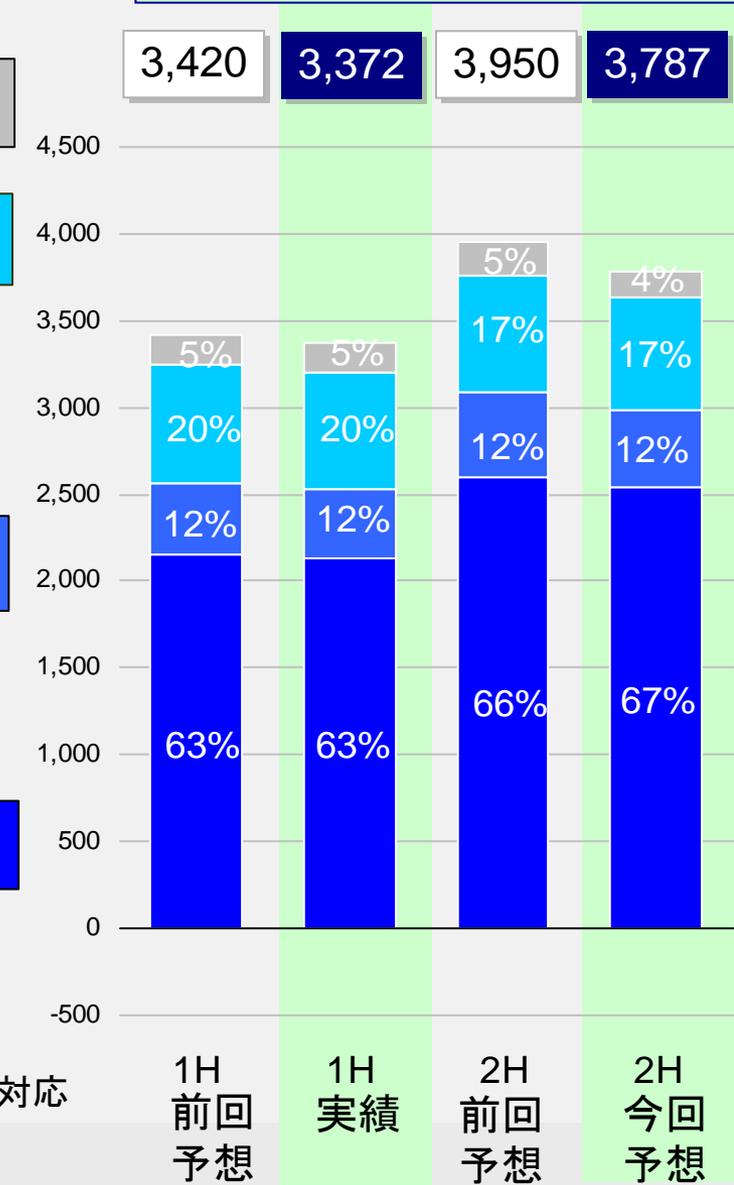
ページプリンタ

- プリントボリュームの高い、地域、商品に注力

インクジェットプリンタ

- 将来の消耗品売上を意識した本体の数量拡大
- 市場動向への柔軟な対応

(億円) **半期 売上高**



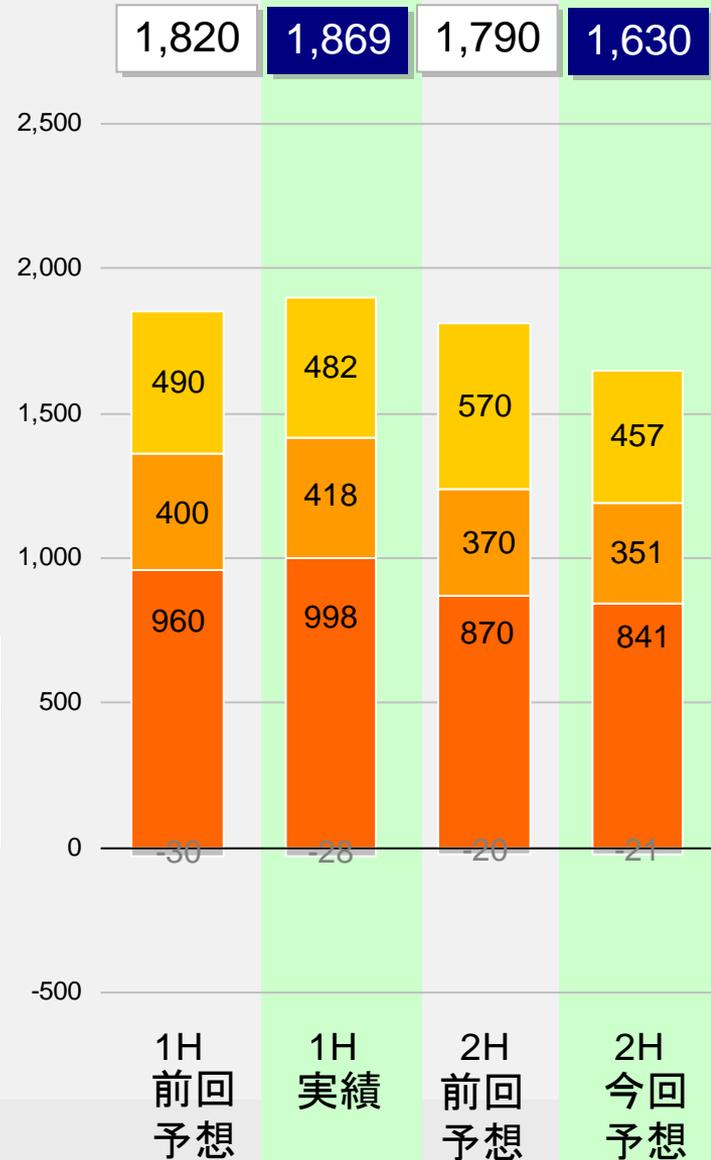
# 事業別売上高予想▶電子デバイスセグメント

## (億円) 通期 売上高



<b>水晶デバイス</b>	
前年同期比	-67
前回予想比	-120
<b>半導体</b>	
前年同期比	-27
前回予想比	±0
<b>ディスプレイ</b>	
前年同期比	-401
前回予想比	+10
<b>セグメント内消去</b>	

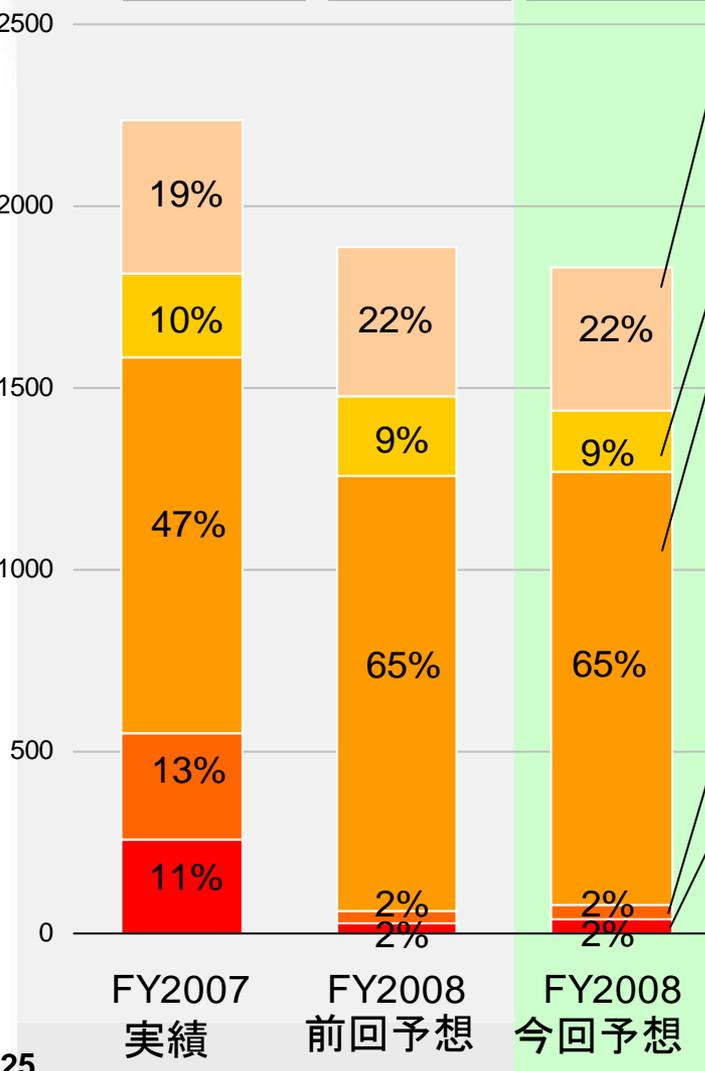
## (億円) 半期 売上高



# 事業別売上高予想▶ディスプレイ事業

## (億円) 通期 売上高

2,241    1,830    1,840



**HTPS-TFT**

- ▶ プロジェクター市場の伸びに対応

**LTPS-TFT**

**a-TFT**

- ▶ リソースを集中
- ▶ 携帯電話向け および新規アプリケーションの開拓への取り組み

**MD-TFD**

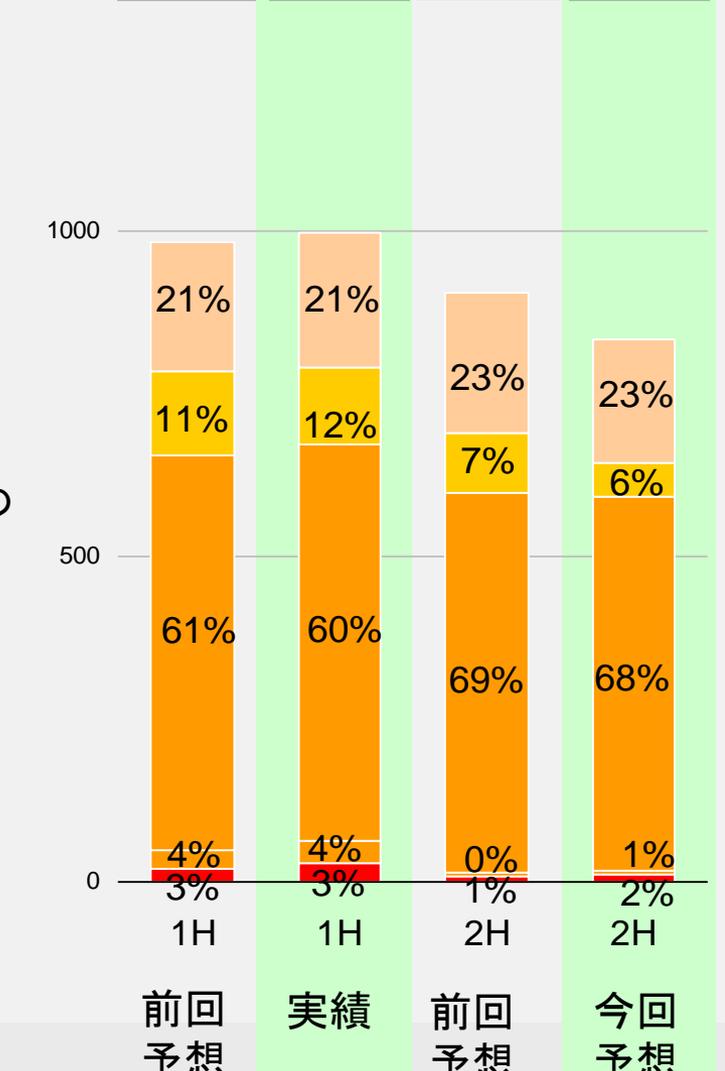
- ▶ 2008年度中に終結

**C-STN**

- ▶ C-STN縮小
- ▶ 一部ラインをタッチパネル製造へ転換中

## (億円) 半期 売上高

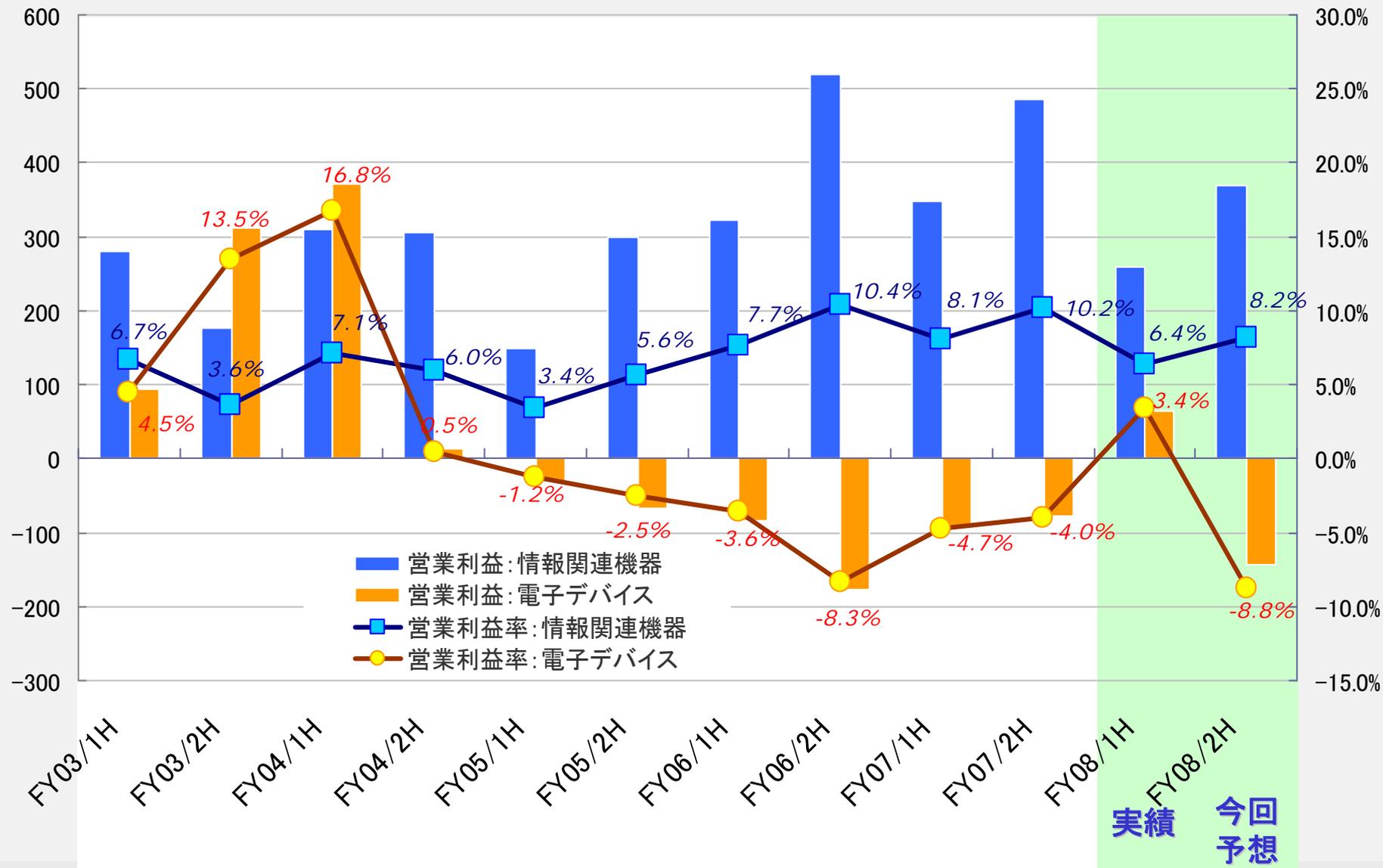
960    998    870    841



# 営業利益の推移

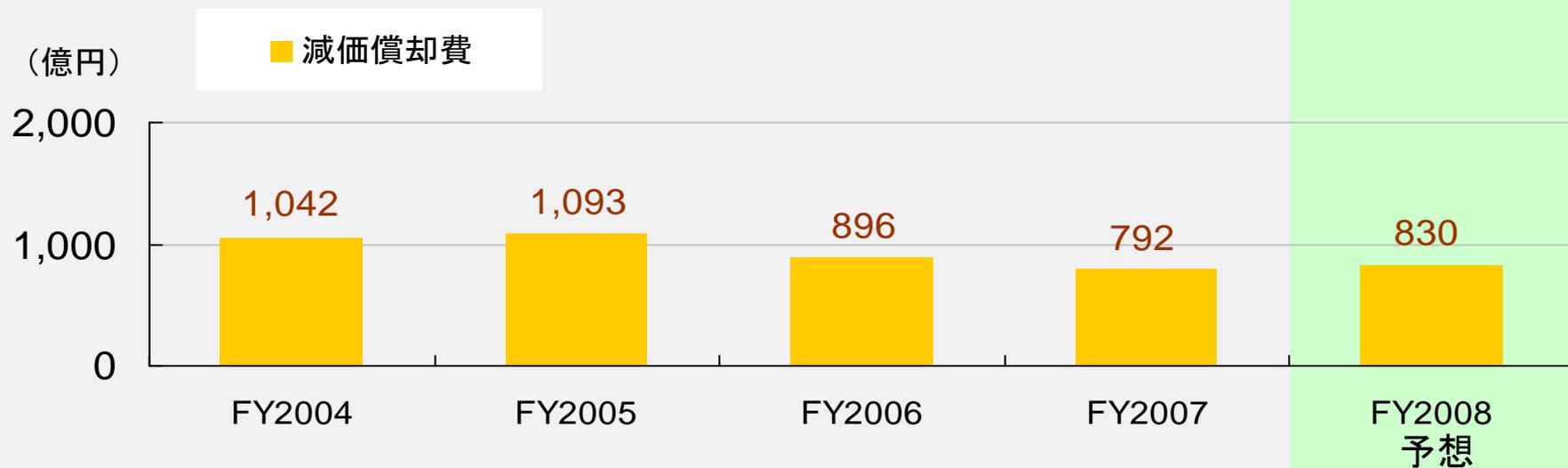
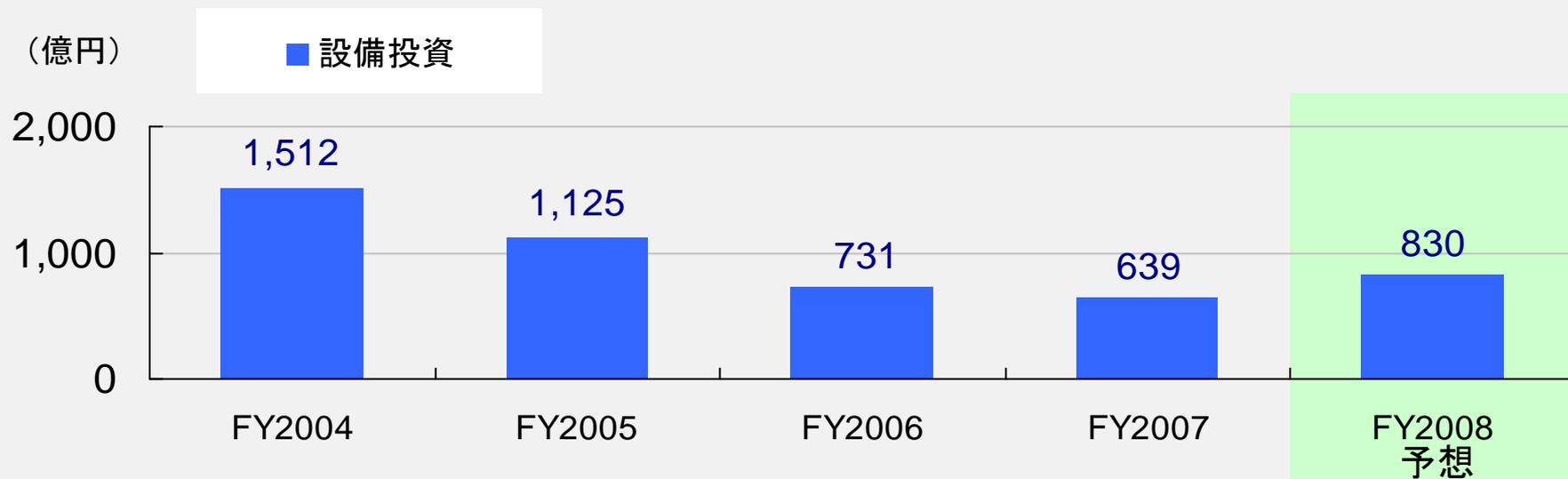
営業利益(億円)

営業利益率

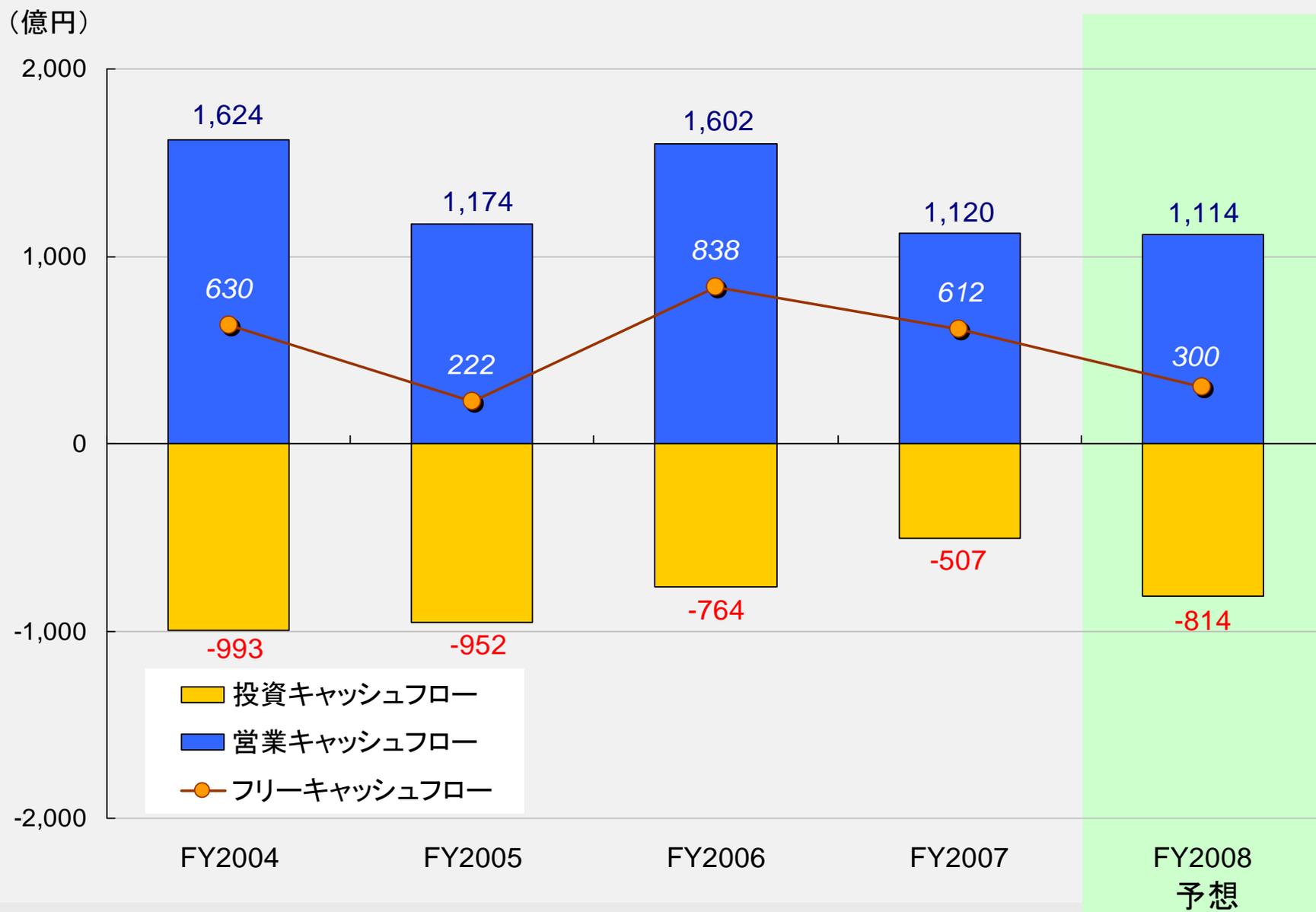


実績 今回予想

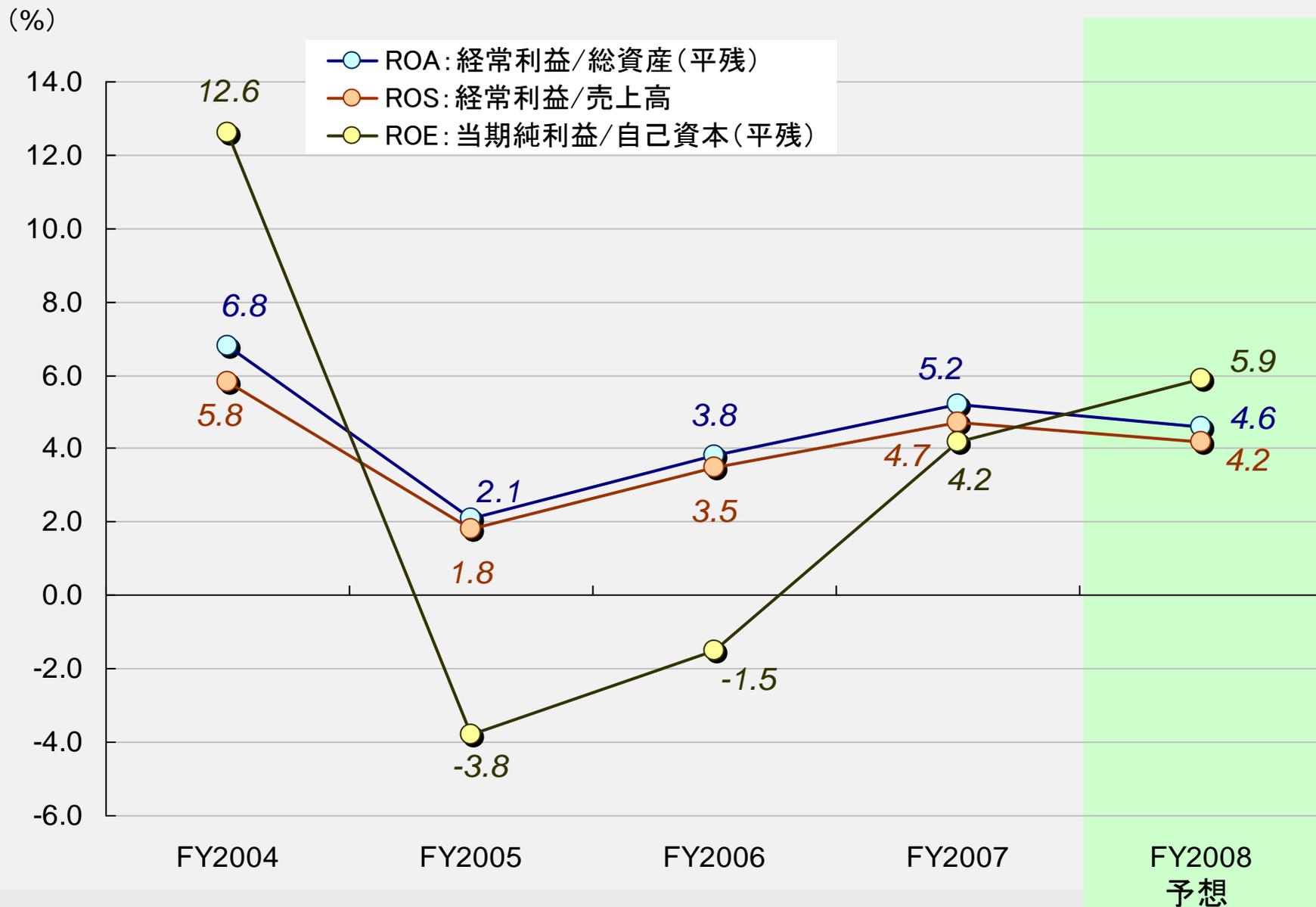
# 設備投資・減価償却費予想



# フリーキャッシュフロー予想



# 主な経営指標の推移



**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION